

第 204 回 日本知能情報ファジィ学会理事会議事録

日時：2015 年 2 月 28 日（土） 13:00～18:30

場所：関西大学千里山キャンパス 学術フロンティアセンター2 階 F31 会議室

（〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3 丁目 3 番 35 号）

出席者：馬野（会長）、林（副会長）、中嶋（副会長）、秋山（賞選考）、乾口（将来構想）、井上（会計）、工藤（大会事業）、徳丸（事業）、関（広報）、前田（庶務、会誌）、和多田（事業監事）、萩原（オブザーバ：慶応義塾大学）

欠席者：佐藤（他学会連携）、星野（電子化検討）、安信（会計監事）、三河（オブザーバ：編集委員長）

1. 前回議事録の承認（資料 204-0）

第 203 回理事会の議事録の確認を行い、承認された。

2. 理事会メーリングリスト報告済事項の確認

理事会メーリングリストで既に報告されている以下の事項の確認および報告がなされた。

(1) 平成 27 年度名誉会員の選定について（林）（資料 204-1）

・林副会長より、来年度名誉会員候補 4 名（船橋先生、椎塚先生、新宮先生、本多先生）についての報告があった。候補者本人の了承も得ており、特に問題なく承認された。

(2) SCIS&ISIS2014 将来構想委員会の報告（工藤）（資料 204-2）

・工藤理事より、SCIS&ISIS2014（北九州市）開催後に行われた SCIS&ISIS の将来計画委員会の報告がなされた。日本、韓国それぞれ 10 名ずつの参加があり、SCIS&ISIS2014 の総括と ISIS2015（韓国）の概要についての報告の後、SCIS&ISIS2016（札幌）について、SOFT 本部からも積極的なサポートをお願いしたいとの要望があり、同席した馬野会長が了承したことも報告された。

(3) 今後の FSS と SCIS の開催について（徳丸）（資料 204-3）

- ・徳丸理事（事業委員長）より、SCIS&ISIS2014（北九州市）の会場にて今後の SCIS と FSS に関して関係者にいくつかの要請をお願いしたことが報告された。
- ・SCIS&ISIS2016（札幌）については、開催依頼を事業委員長から北海道支部に出し、本日支部長から了承の返事があったことが報告された。北海道支部からは、会場などのローカルアレンジメントのみを支部で担当し、プログラム委員会等は本部で組織してほしいとの要望があったことや、8 月下旬頃の開催としたいとの回答があったことが報告された。
- ・その他、FSS2016 は東海大学熊本キャンパスの佐松先生が熊本開催に前向きであり、了承をいただいたこと、FSS2017 は山形大の野本先生が山形開催に向けて東北支部と話をさせていただくことになったこと、FSS2018 はこれまでの都市部開催順序から考えて東海支部の主要メンバーに開催をお願いしたこと、などが報告された。
- ・林副会長から、今後は FSS の担当者（実行委員）を理事に組み込むべきであるとの意見があった。また、IFSA2017（6/27～30）を大津で開催する予定であるが、できれば SCIS との合同開催にしたいとの意見があった。SCIS はこれまで偶数年度に開催しているため前後の SCIS をどのようにするかも含めて、萩原次期会長にも第 14 期理事会で是非検討してほしいとの要望が出された。

(4) FSS 引継ぎ会の報告（工藤、井上）（資料 204-4）

- ・工藤理事から、昨年 12/13 に工学院大学で FSS 引継ぎ会が開催されたことが報告された。工藤理事は都合により参加できなかったため、参加した井上理事が本件について詳細報告を行った。
- ・井上理事から、来年度の FSS2015（東京）は 9/2～4 に開催予定であり、引継ぎ会ではスケジュール

の説明および必要最低限の業務引き継ぎを行ったことが報告された。その後続けて、FSS2015の実行委員会が開催されたことも報告された。次回はJNNS（日本神経回路学会）との共同開催なので、橋山先生が学会間で相談はしているとの報告があり、キャッチフレーズはファジィ生誕50周年を記念するようなものになるとのこと。

(5) JACM 運営委員改選について（前田）（資料 204-5）

- ・前田理事より、事務局から JACM（日本計算力学連合）の運営委員についての推薦依頼があり、現委員である新宮先生に続投をお願いすることになった。この結果は前田理事より事務局に連絡予定。

(6) 会費の減免申請について（井上）（資料 204-6：当日回覧）

- ・井上理事より、会費の減免申請が1件（植村先生）出されており、メール審議ですでに承認されていることが報告された。

(7) 会計からの報告（井上）（資料 204-7：当日配布）

- ・井上理事より、会計の現状報告があった。現在、学会誌の発行が遅れているため会誌関係の支払いが遅れ気味であることが報告された。学会誌は図書館に納めるのが遅れると違約金が発生する場合もあること、会誌発行の遅れに伴い、掲載料・別刷り料金の請求が遅れることになり、年度内に納めてもらえないケースが出てくること、などの説明があった。

3. 理事会メーリングリスト審議済事項の確認

理事会メーリングリストで既に審議されている以下の事項の確認と審議がなされた。

(1) SOFT-CR 公開の遅延対応について（関）（資料 204-8）

- ・関理事より、現在の学会ホームページはカラーチップスに依頼しないと変更できないようになっていて、対応が非常に遅いため、このままでは SOFT-CR の公開が相当遅れることが予想されるとの報告があった。今後は、レンタルサーバも検討する必要があるとの指摘もあった。

(2) カラーチップスとの契約継続について（星野、関）（資料 204-9）

- ・星野理事がまとめた資料をもとに、関理事から報告があった。カラーチップスへの依頼を継続するのには一長一短があり、レンタルサーバを借りると費用を押さえられるが、セキュリティやカード払いなどの対応が大変になるとの報告があった。
- ・徳丸理事からは、論文投稿システムは SCIS ですでに一般サイトを利用している実績があるので、FSS も特に難しくはないが、学会事務局で管理することは困難なため、対応は考える必要があるとの意見があった。もともと準会員を集めたいために現在の SNS システム経由になった経緯があり、今後は準会員をなくせば、SNS 経由である必要がないとの意見も出された。
- ・林副会長から、SCIS ではマイクロソフト CMT を使用しているとの指摘があった。論文投稿システムを新たに立てると会員システムと連動している SOFT 特有のシステム変更を行うのが問題となる恐れがあるとの意見も出された。
- ・中嶋副会長より、カラーチップスからの撤退については、移行計画をたてて、それに従って順次進めたほうが良いとの意見が出された。また、関理事からは、システムの移行に関して、会員の意向も把握しておくべきではないかとの意見があった。
- ・馬野会長より、カラーチップスからの撤退は、学会ホームページ、論文投稿システム、会員システム、の順に分離移行するなどの方法が考えられるので、担当者でサーバ移行計画の原案を立ててほしいとの意見が出された。次期総会ではシステムが順次移行中であることを報告したいとのこと。これについて、まずは星野理事と関理事で次期理事会も含めて長期的な移行計画案を立てることに決まった。

(3) 学会賞規程の修正と検討事項（秋山）（資料 204-10：当日配布）

- ・秋山理事より、学会賞規程における奨励賞の改訂（過去の同賞受賞者が選考対象者になれないこと）が提案され、承認された。

- ・奨励賞の取扱いについては、SCIS と FSS の奨励賞が重なっていることが多いため、奨励賞の定義を明確にしたほうが良いのではないかとの意見が出された。IEEE YRA は FSS や SCIS の奨励賞との重複受賞のケースは過去にもあったが、本学会の FSS と SCIS に関しては（発表者として）奨励賞を受賞した場合は1度きりのみとすることに決まった。
 - ・馬野会長より、規程の改訂について、学会誌4月号に掲載願いを出す必要があること、各賞の推薦については現状のまま担当の秋山理事に送付してもらうこと、についての指示があった。
- (4) 科学技術コミュニケーション推進事業の公募について（前田）（資料 204-11）
- ・前田理事より、表記の公募について学会事務局より推薦依頼があったことが報告され、学会メンバーリストに事務局から流してもらうことになった。
- (5) 山ノ井先生への新聞取材について（前田）（資料 204-12）
- ・前田理事より、山ノ井先生への北海道新聞の取材に関して、学会としての脳波研究についての見解を求められているとの依頼が事務局よりあったことが報告された。本件について、研究分野の近い林副会長が直接回答することになった。
- (6) 支部・研究部会の規定改正について（徳丸）（資料 204-13）
- ・徳丸理事より、支部研究部会の規程改正についての提案がなされた。過去に研究部会規程が特に存在しなかったため、内規を改変して作成したとの報告があった。
 - ・まず支部については、旧支部規程では、第16条で地区を規定していたが現在すでに支部が存在するのでこの規定は不要であること、また第4条と第5条に支部の設置改廃の条項があるが、本来、支部は設置して改廃しない性質のものであるためこの条項も不要ではないかとの提案があった。
 - ・乾口理事より、研究グループは SNS ベースでの自由なグループを対象にしていたので、もともとの支部・研究部会の規程に戻すべきであるとの意見があった。
 - ・研究部会は以前のおおりの、4年を期限として審査する規程に戻ることになった。また、基本的には原則として居住地区の支部に属するが、特例の申請は認める仕組みを作っておくことになった。提案の第3条（支部の地域は総会で定めること）は削除することになった。
 - ・これらの提案については基本的に了承されたが、いくつかの修正があったため、徳丸理事より再度修正案を提示することになった。
- (7) 第2回将来構想フォーラムについて（乾口）（資料 204-14：当日配布）
- ・乾口理事より、第2回将来構想フォーラムを FSS2015 終了後に開催してはどうかとの提案があった。前回は支部長を呼んだが、今回は研究部会代表幹事を呼び、参加者は20名数名程度を考えているとの説明があった。会場は西野先生（電気通信大）が現地を担当してもらうことすでに了承済み。これについて、馬野会長からは是非2回目も開催してほしいとの意見が出され、開催が了承された。
 - ・中嶋副会長からは、第2回は研究部会代表が良いが、せっかく第1回を支部長を集めてやったので、定期的に支部長連絡会も開催していきたいとの意見が出された。
- (8) ファジィルネサンス研究奨励について（乾口）（資料 204-18：当日配布）
- ・乾口理事より、表記の研究奨励についての新たな提案がなされた。本奨励に関する、申請、採択、費用免除などの想定案の説明があった。
 - ・中嶋副会長より、本奨励を与える目的として学会としての方向性を出したほうが良いのではないかとの意見が出された。
 - ・林副会長より、本奨励を与える分野は限定しないほうが良いこと、参加費や投稿料の免除だけでなく、研究費を資金として与えても良いこと、科研費の予算を単に回すのではなく、当学会の発展に寄与する部分が重要であること、などの意見があった。
 - ・馬野会長からは、基本的に学会に関連する分野の研究を活性化するのが目的であるため、資金を与えるのではなく、当学会で発表や論文投稿をしてもらえる機会を与える仕組みを作るべきであるとの意見が出された。

- ・多くの意見が出されたが、基本的に本提案自体は賛成の方向で合意されたため、今後、出された意見を参考に修正案を乾口理事が再検討することになった。
- (9) 文献データベース委員会からの寄付金について (井上) (資料 204-15 : 当日配布)
- ・井上理事より、文献データベース委員会の元委員長である中田先生から、委員会設立当初に本部よりシステム立ち上げ費用として渡されていた費用があるが、残額が相当金額あるので、寄付金として返還したいとの申し出があり、学会の会計に振り込まれたとの報告があった。
 - ・馬野会長からは、まずは中田先生に残金の出所について詳細を確認すべきであり、寄付金であれば希望どおりの使用をしても良いのではないかとの意見が出された。
- (10) 除名対象者について (井上) (資料 204-16 : 当日配布)
- ・井上理事より、会費の4年間滞納者12名は除名処分となる予定であることが報告された。これらのうちで、知り合いの先生に理事が手分けして声かけをすることになった。
 - ・退会希望者が1~2月でかなり多いことも報告された。
- (11) 支部業務に伴う事務局委託について (井上) (資料 204-17 : 当日配布)
- ・本件は3(6)の議題にも関連する事項であるため、同時に審議された。井上理事より、現在、会員情報には基本的に支部の情報がないが、SNSのデータベースから支部の会員情報を持って来ることは可能であり、現在事務局では会費請求の際にこの方法で会員の住所等を取り出していることが報告された。
 - ・従来どおりの支部復活には、支部名簿が必須である。しかしながら、会員情報への支部情報の登録復活は事務局に新たな業務が増えるので、来年度の委託業務に追加することになった。
- (12) 総会へ向けた今期理事会の今後の対応について (馬野、林)
- ・本件は時間の都合上、審議ができなかった。

4. 次回理事会について

総会までの今後の理事会の日程調整を後日、庶務理事から行うことになった。総会と理事会の日程候補は以下のとおり。

次回理事会：4月4、11、18日

総会：5月23、30日、6月6、13日